

医療法人社団豊済会の各施設

下落合クリニック 新宿区下落合3-16-10  
03-3953-1711

ときわクリニック 取手市井野4430  
0297-74-1881

境南クリニック 武蔵野市境南町2-7-19  
境南スカイビル4階  
0422-33-8411

Heartful Linkage

# ほうさい

HP・http://www.housaikai.com

第51号

発行人

医療法人社団豊済会

発行責任者 井上 篤

新宿区下落合3-16-10

電話 03(3953)1711

## 東日本大震災から学ぶ

### ほうさい担当

今年夏になっても蝉の声を耳にすることがなかったのですが昨日ようやく耳にすることが出来ました。しかし今迄の夏に比べて少ない感じがしています。



二〇一一年三月十一日十四時四十六分ごろ、三陸沖を震源に国内観測史上最大のM9.0の地震が発生しました。津波、火災等で多くの方々の尊い命が失われ、福島第一原発事故に伴い放射能からの避難、及び風評被害などで困難が続いています。野菜、牛肉、また今後は米問題が続いて行きままだまだ地震がもたらした被害は深刻な状況下にあります。

東日本大震災の死者は七月二十五日現在の警察庁のまとめで十二都道県で一萬五六一八八人、行方不明者は六県で四八二三人となった。被害が大きいの三県の死者は宮城九三〇人、岩手四六一二人、福島一六〇〇人。不明者は宮城一四五三人、岩手一〇九四人、福島一七二人。内閣府によると、七月十四日時点の震災による避難転居者は約九万一千人。と言われています。

日本透析医会の災害情報では被害の大きかった宮城、岩手、福島の三県には透析患者さんが一萬二千人程度いたとみられ、広い地域で停電や断水により、透析治療可能施設が激減しました。このうち仙台市の被害が比較的少なかった病院で多くの患者さんを受け入れ、通常一回に四、五時間の透析治療を二時間三十分程度まで短縮し、昼夜の透析クールも回転数を上げ普段の二、四倍に当たる一日八クールまで増やして対応したそうです。

その結果、透析液や透析器の不足。また医療スタッフの人数の不足、疲労を招きました。このため、日本透析医会の災害情報ネットワークを通じて東京や新潟などに患者の移送先が確保され、一万人以上の受け入れ態勢が整えられました。実際にはほとんど利用されなかったという事でした。この理由について日本透析医学会理事長秋澤先生は、交通網が寸断されていたという物理的理由はあるものの、遠方に行きたくないという患者自身の心理的な理由によるところが大きいと予想され、患者の決断が非常に大事」と指摘されています。



三十年程前、起震車に透析装置を乗せ、震度六程度の地震を体感し、透析装置の状況を確認した事がありました。今回の震災の地震の大きさは初めての経験になりました。十四時四十六分は、三施設とも日勤帯の患者さんが終了し、中勤帯、夜勤帯の患者さんが透析に入った頃になります。

地震発生後スタッフはただちに透析室に集合、透析中の患者さんベッドサイドへ、その後、揺れが大きく成って来た為、私は水処理室へ直行しました。

水処理室内の配管を確認、窓を開けました。窓の向こうには不気味な怪しげな雲が空を覆っていました。これが地震雲？今世紀の最後かもと思わせられるような異常さを感じさせた景色を覚えています。



下落合クリニックでは地震発生時透析室内では約十二名の患者さんが透析治療中でありました。

透析室内に日勤、中勤、夜勤職員、医師、事務(全員で十五名)が透析室に集合し、患者ベッドサイドにて、揺れに伴う危険物の排除と患者さんの状態の把握声だし安全確保を行いました。強い地震であり水処理装置の故障と水道水の濁水が重なり四名の透析患者さんは翌日に透析変更、夜勤帯患者さんでは

水処理装置の限界もあり二時間程の透析治療しか実施できませんでした。院長指示にて透析を一八時三〇分で終了し、装置の修理と共に貯水槽タンクの応急処置を行い十一日中に修理は完了しました。十二日からは通常の透析を行う事が出来ました。地震当日は七名の職員の帰宅困難者が発生しました。

また、十六日より、送迎バスのガソリン購入が非常に困難となりましたが、毎日並ぶ事でどうにか確保する事ができました。震災発生後から十日間程職員は、電車の復旧の遅れまた計画停電等で八割の職員が影響を受けました。

ときわクリニックでは地震後停電が発生しました。停電中は自家発電装置を四時間稼働させ患者さん十一名の透析を終了し、他の夜間透析患者さんを翌日へ移行しました。

ときわクリニックでは自前にて、食事提供を行っていましたが、約八日間食事提供が行えませんでした。

震災翌日、取手地区の断水連絡があり全員が早朝より勤務して対応し、透析治療が行われました。十四日、生理的食塩水を製造している工場が崩壊して、震災発生後一週間位は生理的食塩水の不足。また、入荷困難が予想された為、本部及び境南クリニックから生理的食塩水を届け透析治療に支障がないように対応されました。



境南クリニックでは震災発生日は、一時的な停電があったものの、工休ペーター停止には患者さんを背負って一階から五階へ搬送しました。透析は無事行われました。午後透析を十三時三十分〜十九時までとして治療を行いました。また十四日より計画停電となり約十日間患者さんに協力して頂き、透析室シフトを停電時間帯を外して透析治療を行いました。

十四日以降は事業者節電十五%を取り入れ、三施設とも蛍光灯の消灯、職員廊下照明透析装置の使用開始時の画面表示消灯等の二十%近い節電を現在も実施しています。



### 職員研修会に関して

#### ほうさい担当

毎年七月に行われていた職員研修会は、計画停電、電車の間引き運転が予想されていた為、九月に延期となりました。

今回の豊済会職員研修会は、震災の経験を生かして、今までの作成していた災害マニュアルを職員が具体的な行動を示し防災意識がより高められる為に再作成を行いました。また、災害時における施設間でのスタッフの応援移動や患者様の移動を考慮し、豊済会各施設での標準的透析操作マニュアル（透析の開始、終了など）そして、院内感染予防を徹底する

ため院内感染予防マニュアルの作成および改訂を行いました。今回の職員研修会は、豊済会でのマニュアル統一の経緯と必要性について、各施設のスタッフより発表および議論を行い、災害時はもとより日々の透析業務に活かすより安全な透析療法を目指すためにいきます。



### 第五六回日本透析医学会

#### 開催される

#### 学会ダイジェスト

震災翌日の朝九時、透析可能な病床は震災前のわずか一四%だった

東日本大震災が発生した三月十一日。その日の夜九時時点で、宮城県内の五三の透析施設は、100%が停電し、九一%が断水した。翌日の朝九時時点では、透析が可能な施設は九施設しかなく、使用可能病床は二三九床と震災前の一四%に過ぎなかった。仙台社会保険病院腎疾患臨床研究センターの木村朋由先生は、六月一七日から横浜で開催された日本透析医学会 (JSD2011) の緊急企画「東日本大震災と透析医療」で登壇、「最終拠点病院」として透析医療の危機を如何にして乗り越えたのかを語った。

#### 【日経メディカルより引用】

### TOPIC

透析患者でも積極的FN治療を推奨、HCVガイドライン

腹膜透析ガイドラインの認知度は八八%と高率  
活性型ビタミンDは透析患者のCVD発症後致死リスクではなくCVD発症リスクに關与する。

#### 詳しくはH26を

#### 1覧ください

<http://medical.nikkeibp.co.jp/>

### 腎性貧血治療に新しい薬剤が登場しました！ 下落合クリニック 院長 菊地 勲

平成二十三年七月に長い血中半減期をもつミルセラ（2〜4週に1回の投与）が発売されました。これまでの腎性貧血治療薬、エスポール、エポジン週に1〜3回の投与（ヤネスフ）〜2週に1回の投与に加えて、より腎性貧血コントロールの幅が広がります。腎性貧血は

血液透析患者の生活の質 QOL や生命予後を左右する、重大な合併症の一つです。血液透析患者に対する腎性貧血治療の目標は Hb 100〜110g/L、Ht 30〜33%です。また、活動性の高い比較若年者では Hb 110〜120g/L、Ht 33〜36%も。

患者さんは  
—— もしも、今回以上の地震に遭遇した場合、いつ・どこで、どういう状況ではどうするべきか一人ひとりが考えておく

患者さんは  
—— 災害発生が透析日或いはクリニックで対処できるとは限りません。何時どのような時でも対処できる心の準備を行動に表すことが大切です

患者さんは  
—— 「患者カード」を携帯！透析条件不明の為、透析が遅れる。短縮する等発生した。電話不通でも安心して順調に透析受けるには、「患者カード」があると、透析条件、禁忌事項がわかる。

患者さんは  
—— 「自助」「共助」「公助」「先ず、絶対生きる」という強い意志が欠かせない。そして生命の切り札「患者カード」忘れず！「生きるんだ！」

—— 想定外を失敗学の視点から捉えようとなりますか  
A、起こると困ることは考えようとしな。く（考えないから）それが想定外になる。

—— どうすれば教訓は生かされるのですか  
A、大事なのは起こってから考えるのではなく、起こる前に考えることだ。想像力を働かせることが重要だ。失敗学では起こらないと証明できるならば起きないだろうが、証明できないならばそれは起こる。

—— 今回の大震災で出現した課題  
A、今回の東日本大震災では、病院はじめ医療施設も津波で流されカルテなど診療記録が流し、診療が出来ない事態が発生した透析患者さんは、全国に移動せざるを得ない状況に至った。

災害対策における重要なことは  
A、①自分の目で見ると②自分で考える③自分で決める④自分で行動する。この4つが重要で、第三者が決めたことに従って失敗すると、「自分は悪くない」と言い訳をする。

○ 今回の大地震では、幸いにも、患者さんやクリニックに大きな被害を受けたという報告はありませんでした。  
○ 地震の際にはご協力いただきました患者の皆さまに感謝を申し上げます。  
○ 下落合クリニックでは、今回の大地震を経験して、今までより安心・安全な透析を続けていただけるように災害マニュアルを見直して対策を講じています。

クリニックとしては  
—— 日本透析医学会の災害対策情報をもとに患者さんに安心な透析を受けていただけるように安全対策を講じています

クリニックとしては  
—— 今回の大震災を経験し、全職員が率先して情報収集、意見交換をしてあらゆる角度からの災害対策を改善、見直しをすすめています

クリニックとしては  
—— 日常、カルテ等記録は万全の保管管理を講じています。  
災害時には担当者が必要最少限の記録を持ち出せる機構で対処します。

クリニックとしては  
—— かけがえない財産の生命を守るため最善の対策を講じています。納得の効果のためには、患者さんのご協力が大切です。よろしくお願致します。